

開講科目名	社会基礎学（グローバル人材に不可欠な教養）				
成績入力担当	熊野 正樹	開講区分		単位数	
		第2クォーター		2.0単位	
ナンバリングコード	U1BB100	曜日・時限等	他(対面)	時間割コード	2U102

#### 授業のテーマ

世界は、新興国の急成長や情報通信技術の目覚ましい進歩、金融市場のボラティリティ化が着実に進展する一方、100年に一度と言われる未曾有のコロナ禍や米中両国の対立、更にはロシアによるウクライナ侵攻、パレスチナ問題等により、分断の危機に直面しています。

このような激変する世界のなかで社会に出る学生は、現在の世界の姿や世界の中での日本の位置付けを正しく認識し、広い視野を持ち、多様な価値観を理解しておく必要があります。そのような国際社会で活躍する人材に不可欠な素養の形成を後押しするのが社会基礎学です。

#### 授業の到達目標

社会基礎学とは何かを探究しながら、今後の大学生活で養うべき知識、教養、想像力および構想力を全学部の受講生と共に身につけます。

#### 授業の概要と計画

以下の分野にプライオリティを置き、産業界・官界のトップリーダーがリレー形式で講義を実施、皆さんとともに考えます。「グローバル化」、「金融」、「政治・政策」、「安全保障」、「産業」、「技術」、「インフラ」、「アジア」、「社会・報道」、「食料・食品」

以下の日程で、土曜日の3、4時限あるいは2、3、4時限を用いた短期間集中授業を実施します。

- ①6月15日（土）：ガイダンスとテーマ1
- ②6月22日（土）：テーマ2、3、4
- ③6月29日（土）：テーマ5、6、7
- ④7月6日（土）：テーマ8、9、10
- ⑤7月13日（土）：テーマ11、12、13
- ⑥7月27日（土）：総括、期末試験

#### 成績評価方法

期末試験の受験のためには、全14コマの講義（1日目が2コマ、2～5日目が各3コマの計算）のうち、10コマ以上の出席が必要。成績評価は試験結果100%とします。

#### 成績評価基準

期末試験で60%以上の得点を合格とします。

#### 履修上の注意（関連科目情報）

準備学習としては、講義テーマや講師の所属先等について、インターネットや図書などであらかじめ調べておいてください。また、講義時間内に質疑時間を設けるので、わからなかったことや興味を持ったこと等について、積極的に質問・議論し、講義に参加してください。

復習としては、講義の中で興味を持った内容について、自分なりに好奇心を持って調べ、周囲と議論するようにしてください。

#### 事前・事後学修

本講座のWebサイトに講義スライドを事前掲載します。各講義内容は図書等で予め調べておいてください。

講義時間内に質疑時間を設けますので、わからなかったことや興味を持ったこと等について、積極的に質問・議論し、講義に参加してください。また、講義中にコミュニケーションシートを配布し講師宛に感想・コメントを記載していただきますので、毎回必ず提出して下さい。（コミュニケーションシートは、各講師に送付すると共に、出席票としても扱われます）

復習としては、講義の中で興味を持った内容について、自分なりに好奇心を持って調べ、周囲と議論するようにしてください。

また、前回提出したコミュニケーションシートに対する講師のコメントを通知しますので参考にしてください。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

#### オフィスアワー・連絡先

職 名：産官学連携本部 教授（アントレプレナーシップセンター長）

氏 名：熊野 正樹

連絡先電話：078-803-5948

E-Mail Address：kumano@bear.kobe-u.ac.jp

↓ 本講座のWebサイト

#### 学生へのメッセージ

講義の副題である「激変する世界のなかで、日本はどうあるべきなのか？ これから社会に出る学生は何を学び、何を身に付けるべきか？」について理解し、第一線で活躍する社会人講師の話の聴き、強い関心と好奇心を持って考えてください。そして、先の見通しづらい世界で自ら何ができるか、そのためには何が必要か、積極的に学び、考えることを期待します。

本講座の概要を説明する履修登録ガイダンス（本講座のWebサイトからダウンロード可能）を視聴の上、5/10までに履修登録フォーム（同サイトに表示）から履修登録をしてください。（教務情報システム（うりぼーネット）からの履修登録はできません）

定員は150名程度を予定しています。

教室はK棟202です。

#### 今年度の工夫

各回の講義がリレー形式でつながっていくように配慮します。

#### 教科書

講義当日にプリントを配付します。

#### 参考書・参考資料等

講義資料を以下の本講座Webサイトから事前ダウンロード可能

#### 授業における使用言語

日本語

#### キーワード

グローバル化 インフラ 政治・政策 産業 技術 安全保障 金融 アジア 社会・報道 社会基礎学 大競争時代 チャレンジ リレー講義